

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公表番号】特表2014-519534(P2014-519534A)

【公表日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2014-043

【出願番号】特願2014-509633(P2014-509633)

【国際特許分類】

C 08 F 220/30 (2006.01)

C 08 F 2/44 (2006.01)

G 01 N 27/447 (2006.01)

C 09 D 11/30 (2014.01)

【F I】

C 08 F 220/30

C 08 F 2/44 C

G 01 N 27/26 3 1 5 F

C 09 D 11/30

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0145

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0145】

実施例1：赤血球様形状を持ったRM257の粒子エマルジョンの調製

RM257(5.0g)をビーカーの中に配置し、それが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50.0gのドデカンおよび500mgのクラトンG1701EUを混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で搅拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された搅拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。エマルジョンの温度が安定したら、Vazo67(熱的開始剤)(250mg)をドデカン(5mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の搅拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0147

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0147】

実施例2：タクトトイド形状のRM257粒子エマルジョンの調製

RM257(5.0g)をビーカーの中に配置し、それが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50.0gのドデカンおよびクラトンG1701EU(500mg)を混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で搅拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150

でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、LuperoxP(熱的開始剤)(250mg)をドデカン(5mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訛訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0149

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0149】

実施例3：RMD粒子エマルジョンの調製

RMD(5.0g)をビーカーの中に配置し、それが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50.0gのドデカンおよびクラトンG1701EU(500mg)を混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、LuperoxP(熱的開始剤)(250mg)をドデカン(5mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訛訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0151

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0151】

実施例4：RM257およびディスパースレッド1メタクリレートの赤に着色された粒子エマルジョンの調製

RM257(5.0g)およびディスパースレッド1メタクリレート(0.125g)をビーカーの中に配置し、それが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50.0gのドデカンおよびクラトンG1701EU(500mg)を混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、LuperoxP(熱的開始剤)(250mg)をドデカン(5mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訛訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0154

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【0154】

塩化メチレン(10mL)中の塩化メタクリロイル(3.51mL、3.76g、0.036mol)を、塩化メチレン(75mL)中の市販のCIディスパースレッド19(95%、5.0g、0.01438mol)およびトリエチルアミン(8.01mL、5.8g、0.0575mol)に徐々に加える。この混合物を一晩攪拌し、メタノール(50mL)を加えて、粘着性の固体を得る。メタノールからの結晶化を試みると粘着性の固体が得られ、これを更に冷メタノールと共に磨碎する。得られる固体(MR3)を回収し、更なる少量のメタノールで洗浄する。収量: 6.0g、85%、M.p.: 88-90.

## 工程2:

RM257(5.0g)およびディスパースレッド19ジメタクリレート(0.125g)をビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、ドデカン(50g)および500mgのクラトンG1701EUを混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、LuperroxP(熱的開始剤)(250mg)をドデカン(5mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

## 【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0156

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【0156】

## 実施例6: RM257および陽イオン性モノマーから調製される帯電粒子の製造

RM257(5.0g)および陽イオン性モノマー(0.10g)をビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、ドデカン(50g)およびのクラトンG1701EU(500mg)を混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、LuperroxP(熱的開始剤)(250mg)をドデカン(5mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

## 【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0158

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【0158】

## 実施例7: 反応性メソゲン混合物の粒子エマルジョンの調製

3.75gのRM257および1.25gのRMBをビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50gのドデカンおよび500gの

クラトンG1701EUを混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、LupereroxP(熱的開始剤)(250mg)をドデカン(5mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0161

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0161】

5.0gのRM257および0.15gのキラル反応性メソゲンをビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50gのドデカンおよび500mgのクラトンG1701EUを混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、LupereroxP(熱的開始剤)(250mg)をドデカン(5mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0164

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0164】

4.5gのRM257および0.5gのトリメチロールプロパントリアクリレートをビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50gのドデカンおよび500mgのクラトンG1701EUを混合し、該表面活性剤が溶解するまで150で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silverson)ホモジナイザーを用いて2000rpmで8分間、150でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100mL丸底フラスコに移し、これを85で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、Vazo-67(熱的開始剤)(250mg)を反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0167

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0167】

4.75 g の RM 257 および 0.25 g の反応性メソゲントリアクリレートをビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50 g のドデカンおよび 500 mg のクラトン G 1701 EU を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 150 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2000 rpm で 8 分間、150 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の 100 mL 丸底フラスコに移し、これを 85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpm に設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターを取り付ける。反応物の温度が安定したら、Vazo-67 (熱的開始剤) (250 mg) を反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を 2 時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを 50 マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正 11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0170

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0170】

5.0 g の RM 257 および 0.225 g の安息香酸反応性メソゲン (シントンケミカルズ社 (Synthon Chemicals)) ビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50 g のドデカンおよび 500 mg のクラトン G 1701 EU を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 150 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2000 rpm で 8 分間、150 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の 100 mL 丸底フラスコに移し、これを 85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpm に設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターを取り付ける。反応物の温度が安定したら、Vazo-67 (熱的開始剤) (250 mg) を反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を 2 時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを 50 マイクロメータの布を通して濾過する。